

BFSニュースレター

発行者 びとうファイナンシャルサービス株式会社(BFS)

2012年12月4日発行

Vol.44, 第44号

このニュースレターの主な掲載情報:

- グローバルな政治・経済、マーケットの最新情報や分析見通し
- 資産運用や人生設計に役立つ情報
- BFSのサービス、実際のトピックス、ケーススタディ
- 知っておくと得するホットな情報

外国株の長期投資に、為替リスクはほとんどない。

外国株投資は為替が恐いからと、なかなか踏み切れない人も多いでしょう。しかし外国株投資にほとんど為替リスクはないとしたら、どうでしょう。なぜそうなるか。まず、2国間の為替が決まるメカニズムからお話し、株価は為替に対しどう動くかを見ていくことにします。

為替レートは、2国のインフレ率の差によって決まると言われています。インフレ率の高い国の通貨は低い国より通貨安になります。2011年米国のインフレ率は前年比3.1%、日本は-0.3%ですから、その差は3.4%。この分理論的にドル安・円高になるわけです。

そして、通貨安を伴うインフレは株価をどう動かすか？を見ましょう。

- インフレになると、実物資産の不動産や株式に投資資金が回り、不動産価格や株価が上がる。
- インフレになると、製品の売価が上がり賃金の上昇は遅れ、収益性が向上し株価は上がる。
- 通貨安になると、輸出企業や国外売上が多いグローバル企業は業績が向上し、株価は上がる。このように投資先の通貨安を株価の上昇が補うのです。

実際にどの程度、為替リスクを、外国株投資で吸収してしまうかを、ニューヨーク・ダウに円で投資した場合を見てみましょう。

「NYダウ」はドル投資の株価リスク、「為替」は円/ドル為替リスクです。ここで「円建てNYダウ」は、「NYダウ」と「為替」の15.1%と10.9%の合計の26%と考えがちですが、実際は17.8%です。増えている為替リスクは10.9%ではなく、(17.8-15.1)の2.7%のみです。為替リスクの3/4(8.1/10.9)が消えます。

また円建てNYダウのリスク17.8%の内訳は、株式リスクが15.1%、為替リスクは2.7%で全体の15%しかなく、ほとんどが(85%)株式リスクです。すなわち長期でNYダウに投資した場合、為替リスクはほんのわずかなのです。米国の調査でも、10年以上たつと外国株投資の為替リスクはゼロになるという結果が出ています。これは、通貨安をもたらすインフレにより株価が上昇し、通貨安を埋めてしまうことを示しているのです。

一方外債の場合は、外国株のように為替リスクを吸収しません。そのため為替リスクは残ったまま、為替リスクという面では外債の方が外国株よりも高いのです。なぜなら、インフレが金利上昇・通貨安を引き起こしますから、債券価格は下がり、通貨安で為替損も被り、債券のリスク+為替リスクを単純に足したものになってしまうからです。

為替リスクをあまりにも恐れて、外国株投資をためらうのは、目の前の木になるりんごが実は甘くておいしいのに、中身が心配で食べないようなものなのです。

総選挙、我々国民はどう臨むべきか？

総選挙が告示されました。民主党の政治にほとほとうんざりした国民の一人としては、待ちに待った選挙です。それにしても民主党の政治はひどかった。決まつたらしいことといえば、消費税の10%増税のみ。高速道路の無料化、八場ダム工事の中止などの公約は反故にされ、マニフェストはなかったようなものです。そのマニフェストを信じて民主党に投票した私たちも愚かでした。民主党は今度の総選挙でもマニフェストをつくったわけですが「よくつくれたもんだ。」といいたくなります。いわば、信用度ゼロのマニフェストです。

一方自民党・安倍総裁は、民主党への逆風を追い風として張り切っていますが、もし自民党に政権がいくとなると、これも先祖帰りするようなものです。3年前までの政権党で、抜本的な改革に踏み切れなかった責任は大きく、そこに数年ですんなり政権をゆだねてしまうのは、国民の判断として安易な感を持ちます。



いっそのこと、日本維新の会など第3極にやられてみてはいかがでしょう。あまり現実的でない感じもしますが、そのくらいの振れがないと、この国難は乗り切れないでしょう。いずれにしても、今度の総選挙は投票し、国民としての明確な意思を示さなければなりません。

今月の言葉:

「人民は水、われらはそれに浮かぶ舟だ。水が波を立てれば、舟は揺れもすれば、転覆もする。」-唐・太宗

	NYダウ	為替 円/ドル	円建て NYダウ	為替増分 (消失分)
1993/1~ 2011/12	15.1%	10.9%	17.8%	2.7% (8.1%)



Web サイトもご覧ください
<http://www.bfsc.jp>

発行者 びとうファイナンシャルサービス株式会社(BFS)
代表取締役 尾藤 峰男

〒105-0022
東京都港区海岸1-2-20 汐留ビルディング3階

電話 : 03-6721-8386
携帯 : 090-4934-3121
FAX: 050-3156-1072
電子メール : info@bfsc.jp

・びとうファイナンシャルサービスのミッションは、お客様とパートナーになり、正しく客観的なプランニングとお客様資産の運用を通じて、お客様を人生のゴール達成に導くことです。

・金融機関から完全に独立して、お客様利益最優先の公正なアドバイスを提供しています。

・最新で高度な理論や知識、30年以上のグローバルな豊富な経験、強い倫理観で最高品質のサービスを提供しています。

・資産運用サービスやライフプランニングについてもっと詳しく知りたい方は、左記までお問合せください。

弊社から皆様への情報提供ソース:

びとうファイナンシャルサービス公式ホームページ
<http://www.bfsc.jp>

毎週3分で、資産運用の成功へ導くメルマガ！
お申し込みは <http://www.bfsc.jp/mailmagazine/>

書評ブログ-平日毎日更新
<http://blog.goo.ne.jp/dreamct-1>

お客様の人生に豊かさを、心に安心とゆとりを
—びとうファイナンシャルサービスの大切な役割

時を重ねると、配当金のパフォーマンス底上げの役割が顕著になる。

配当金が何年にもわたり積みあがってきますと、その合計額は、あるときには投資元本の損益を上回って、全体をプラスに持っていく強い威力を発揮します。

たとえば5000万円の投資元本のポートフォリオで、以下のような状況が発現します。

2006年末 投資元本 5000万円
配当金

07年100万円	08年110万円	09年120万円
10年140万円	11年160万円	12年190万円
2012年 元本評価額	4500万円	

4500万円-5000万円(元本損益-500万円)
+820万円(配当金)=320万円(投資損益)

ポートフォリオが、配当金が着実に増える銘柄を多く組入れていると、マーケット全体が下がり、ポートフォリオの時価評価がマイナスの時でも、配当金は着実に支払われ、さらに増え続けるという状況が発現します。株価は会社のコントロールが及ばず、マーケット環境により変動しますが、配当金は会社の意思決定で決まります。そのため堅実な業績が続いているれば、配当金は確実に支払われ、増え続けます。このように構築された

ポートフォリオは、時が経過するほど、配当金が全体を底上げしパフォーマンスがよくなるという、あるべき運用の姿を体現するのです。また業績がよければ、投資元本はいずれ上がり、配当金とともに2つの強力なエンジンを持つことになります。株価は、時々の市場環境で上下しますが、いったん市場環境がよくなると、業績のよさから株価も上がるという展開になるのです。

配当金は、絶えず供給される頼りになる現金で、再投資に回せる貴重な原資ともなります。ここに驚くべき数字があります。1871年から2003年にかけて、インフレ調整ベースで1871年に1000ドルを米国株に投資して配当を再投資した場合、2003年末のリターン総額は約800万ドルということです。配当を再投資しなかった場合、リターン総額は25万ドルに満たないのです！値上がり益がもたらした部分は3%に過ぎません。

このように配当金は「小遣い」ではなく、株式投資収益の大部分を占めているのです！



第21回『退職金や金融資産をしっかり運用するためのセミナー』

-こうすればしっかりお金を増やすことができる-

びとうファイナンシャルサービス

私どもでは、今後の日本の将来を見通して、お金の運用をどうしたら間違いなくできるかをわかりやすくお話しする下記セミナーを開催します。金融機関や証券会社から完全独立の立場で、お客様にもっとも適した金融商品やアドバイスを提供する弊社のセミナーは、お越しいただいた方から大変好評です。ぜひご参加ください！お待ちしています。

大切なお金の運用で、本当のことを知るのはたいへんむずかしくなっています。日本の将来が不透明感を強め、国の年金にも頼れない中、自分でしっかりお金運用する必要があります。このセミナーで、他では絶対に聞けない、人生を安心して過ごせる「正しいお金の運用法」をぜひ学んでください。きっとかけがいのない時間となることでしょう。

30年以上の経験と資産運用で頂点のグローバル資格を持つ、金融機関から完全独立のFP・資産運用アドバイザー尾藤 峰男だから語れる「人生を豊かに過ごすためのお金の運用法」をお話します！

お話しする内容：

- なぜ日本だけに投資していくはダメか、海外投資の必要性とメリット
- 本当に正しい資産運用法の実践法-やり方によって人生の分岐点にも
- 証券会社や銀行がいう通りにしては、必ず失敗する。
- よい金融商品とはどういうものか。
- 安心してお金の相談ができるところはどこか。

日時：2012年12月15日（土）15:00～17:00

場所：TKP東京駅丸の内会議室ミーティングルームC（日比谷帝劇ビル地下1階） <http://tkpteigeki.net/access/index.shtml>

（最寄り駅：有楽町・日比谷駅）

～限定10名、参加料1,000円（当日お支払い）～

申し込みは、下記メールまたは電話にて「12月15日セミナー参加希望」として、お名前とご連絡先をお知らせください。

Eメール： info@bfsc.jp

Tel: 03-6721-8386

講師：尾藤 峰男 びとうファイナンシャルサービス代表取締役

プロフィール：

米国CFA協会認定証券アナリスト、CFPR、日本証券アナリスト協会検定会員、1級FP技能士、金融機関から完全独立のFP・資産運用アドバイザーとして、個人の金融資産や退職金の運用助言・ライフプランニングサービスを提供する。2000年当社設立。グローバルな投資理論や外国株投資・国際分散投資への造詣が深い。日本経済新聞、週刊東洋経済、日経マネーなどへのコメント多数。日経CNBCにもたびたび出演。著書に「いまこそ始めよう 外国株投資入門」日本経済新聞出版社。投資助言・代理業として関東財務局登録。